

スリムで透明性の高い行財政運営を行います

「高島市事業仕分け」作業を実施

11月24日、25日の2日間にわたって、非営利政策シンクタンク「構想日本」などから外部の有識者を迎えて、市の事務事業の必要性やあり方について点検と見直しを行う「事業仕分け」作業は、市財政立て直しのため、現行事業を見直すものです。

◆なぜいま財政の見直しが必要なの？

財政立て直しのため、現行事業の見直しが早急に必要

昨年1月に6町村が合併したことで、市の予算規模は約270億円と大きくまりました。しかし、それに伴い借金である地方債も累積で約385億円と大きくなっています。これは高島市に住む赤ちゃんからお年寄りまで、一人当たり48万円ほどの収入しかないのに、69万円もの借金を抱えているという状況なのです。さらに国が進める三位一体改革により、地方への交付金が削られていく可能性が強まっております。自主財源の少ない高島市の財政はこのままでは将来破綻しかねません。

◆事業仕分けって何？

このような逼迫した財政状況と、旧町村で互いに重複する事業を抱えるなど、合併による根本的な事業見直しが必要な状況にあって、現在の事務や事業の内容をもう一度点検し、市の仕事の範囲と仕事のやり方を見直していく必要があるとあります。そこで地域再生マネージャー事業の一環として、過去14回の「事業仕分け」の実績がある民間の非営利政策シンクタンク「構想日本」などから自治体業務に精通した方を招き、「事業仕分け」作業を実施いたしました。

外部の人の視点から客観的に事業を見直す「事業仕分け」

◆どんな成果があったの？

「事業仕分け」の始まりにあたって、海東市長は「公正な立場から事業を判断して頂き、来年度予算に反映させていきたい。今日の事業仕分けが国に頼らない新たな自治へのスタートとなれば」と挨拶しました。

「事業仕分け」作業では、コーディネーターを含む計4人の外部参加者に対して、各事業の担当職員が事業内容について説明を行い、それを基に外部参加者と市職員が質疑応答と議論を繰り返します。最後に外部参加者がその事業について「廃止」、「継続」、「改善して継続」、「継続」の4つに仕分け判断を行い、多数決で班としての総括を行います。2班が並行する形で、この作業が1事業15〜20分程度で行われていきました。

主要事業を中心に市政を根本見直し、鋭い指摘に市職員の意識に変化も

今回、点検の対象となった事業は、全事業数の約1割に当たる119事業、約12.9億円分で、現計予

算の半分を占める主要な事業（概ね1千5百万円以上の事業）ばかりでした。公園や幼稚園といった公共施設の維持管理事業から、医療・福祉、商工会、観光協会などへの補助金を通じた支援事業・振興事業、道路の建設・改修などの建設事業、特別会計への繰出金、事業会計への負担金、一般事務事業費など市政の全分野が例外なく対象となりました。

外部参加者から頂いた指摘は、「事業の目的と実際の計画が一致していない」、「管理運営の見直し・計画が甘い」、「合併後の統一化・効率化が議論されていない」、「事業の評価が甘い、不適切」、「合併という契機を活かして大きい視野で事業を見直しては?」、「民間への委託やPFI（民間資金等活用事業）を検討してみるなど、民間の視点も含めた事業見直しを」などです。



事業仕分け作業結果

【件数ベース】

(上段:件数、下段:%)

費目	不要	民間	市(但し改善要)	市(ほぼ現行どおり)	対象外事業	計
議会費	0	0	9.5	4.5	0	14
議総務費	0.0	0.0	67.9	32.1	0.0	100
民生費	5.33	1	7.83	5.83	0	20
	26.7	5.0	39.2	29.2	0.0	100
衛生費	0	0	11	3	0	14
	0.0	0.0	78.6	21.4	0.0	100
農林水産業費	3	1	2	4	0	10
	30.0	10.0	20.0	40.0	0.0	100
商工費	2	1	5	0	0	8
	25.0	12.5	62.5	0.0	0.0	100
土木費	3.50	0	6.50	8	3	21
	16.7	0.0	31.0	38.1	14.3	100
消防費	0	0	1	3	0	4
	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	100
教育費	0	0	18	9	1	28
	0.0	0.0	64.3	32.1	3.6	100
計	14	3	61	37	4	119
	11.6	2.5	51.1	31.4	3.4	100

【事業費ベース】

(上段:百万円、下段:%)

費目	不要	民間	市(但し改善要)	市(ほぼ現行どおり)	対象外事業	計
議会費	0.0	0.0	1,007.4	571.9	0.0	1,579.3
議総務費	0.0	0.0	63.8	36.2	0.0	100
民生費	119.8	26.5	1,093.4	1,316.7	0.0	2,556.4
	4.7	1.0	42.8	51.5	0.0	100
衛生費	0.0	0.0	2,059.0	161.7	0.0	2,220.7
	0.0	0.0	92.7	7.3	0.0	100
農林水産業費	48.3	12.6	59.8	682.5	0.0	803.2
	6.0	1.6	7.4	85.0	0.0	100
商工費	116.3	40.0	299.3	0.0	0.0	455.6
	25.5	8.8	65.7	0.0	0.0	100
土木費	38.4	0.0	1,692.6	1,310.3	123.8	3,165.1
	1.2	0.0	53.5	41.4	3.9	100
消防費	0.0	0.0	64.3	293.2	0.0	357.5
	0.0	0.0	18.0	82.0	0.0	100
教育費	0.0	0.0	747.3	966.5	16.2	1,730.0
	0.0	0.0	43.2	55.9	0.9	100
計	322.8	79.1	7,023.1	5,302.8	140.0	12,867.8
	2.5	0.6	54.6	41.2	1.1	100

※1 一つの事業が2種類あるいは3種類に仕分けされた場合、それぞれ0.5件、0.33件(事業費はそれぞれの事業費)として計上しております。

※2 本年度で終了する事業につきましては、対象外事業欄に計上しております。

仕分け作業の結果、多くの事業で市として継続を行うが、改善や見直しが必要であると判断され、民間への委託や廃止が適切であると判断された事業もありました。今回の「事業仕分け」結果と外部参加者から頂いたコメントを参考として、真に必要な事業を削り、また継続と判断された事業についても、もう一度事業を見直して改善を図っていく予定です。また外部参加者の方から、「市民皆さまへの説明責任を果たしうる事業計画・予算計画を立てること」の必要性を度々指摘いただき、不要な事業を一方的に削るばかりでなく、市民の皆さまのための「あるもの探し」から「新しい挑戦」へつなげていきたいと考えています。これらを可能なものから来年度以降の予算に反映させ、高島市の身の丈にあった事業計画とスリムな行政を目指していきます。



(財政課・企画調整課)